

さいぶ 西部ガスホールディングス株式会社 会社説明資料

2025年8月5日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき判断した予想であり、実際の業績等は様々なリスクや不確実性等の要因により大きく異なることがあります。

(証券コード：9536)

1. 西部ガスグループの概要	P. 2
2. 西部ガスグループの主な事業	P. 7
3. 西部ガスグループの成長戦略と業績	P. 18
4. 西部ガスグループの資本コスト経営	P. 28
参考資料	P. 33

1. ^{さいぶ}西部ガスグループの概要

- **会社名** : 西部ガスホールディングス株式会社
- **設立** : 1930年（昭和5年）12月1日
- **代表者名** : 代表取締役社長 加藤 卓二
- **従業員数** : 3,840名（連結）
- **資本金** : 206億円2,979万円
- **上場市場名** : 東京取引証券所プライム市場、
福岡証券取引所
- **発行体格付** : 日本格付研究所（JCR） AA-
格付投資情報センター（R&I） A+
- **関係会社** : 連結子会社46社、持分法適用関連会社5社

「地域貢献」・「責任」・「和」をもって経営の基本理念とする

地域貢献

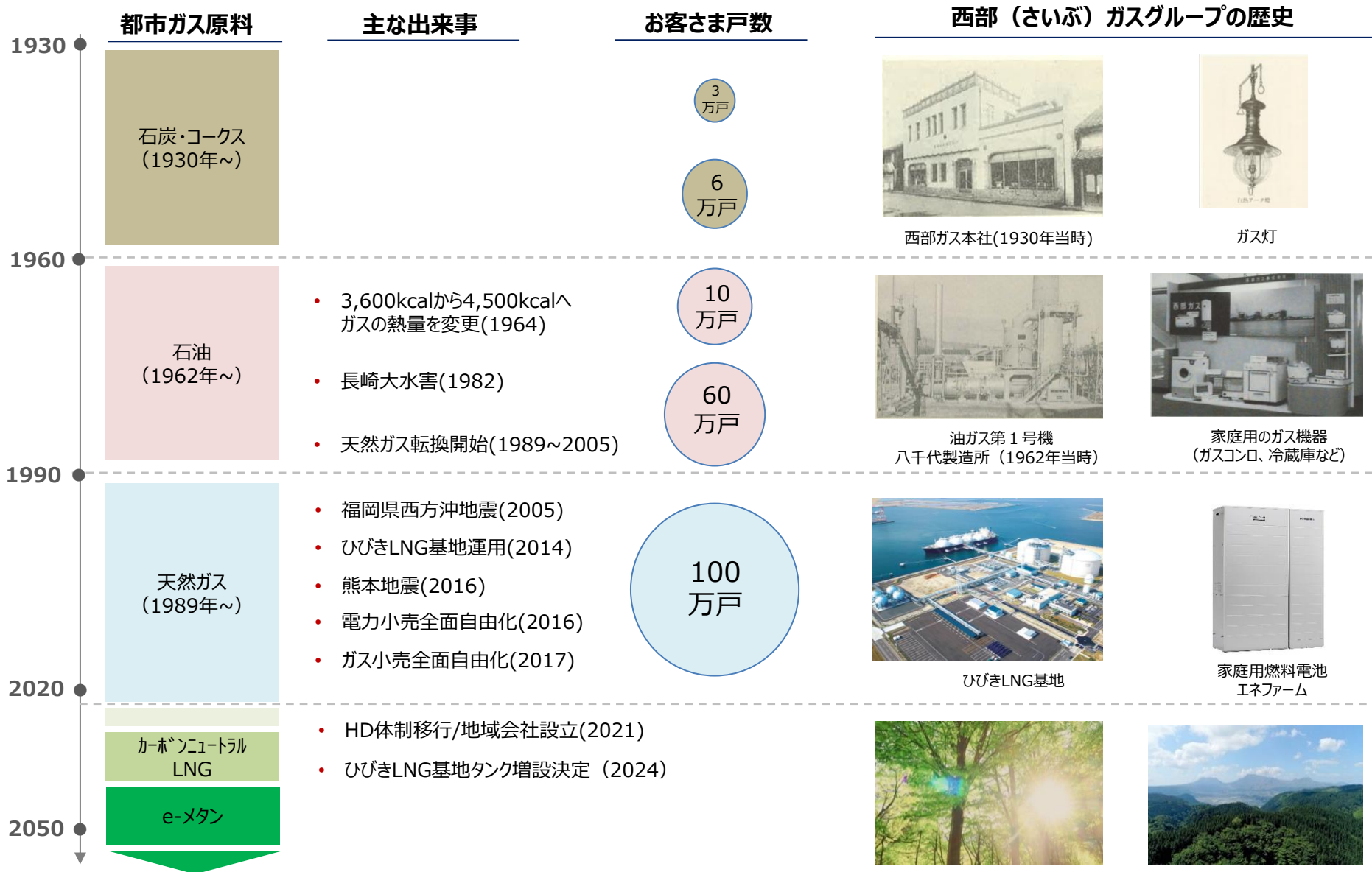
吾々は地域に因って立ち
地域と共に栄える。
地域への貢献を旨とし
効率の向上に日々
努力しよう

責任

吾々の責任は「不断の
サービス」・「安全の確保」・
「顧客の満足」とに
集約されることを自覚し
これを全うしよう

和

「和衷協同」と
「切磋琢磨」を
吾々の前進をみちびく
車の両輪としよう

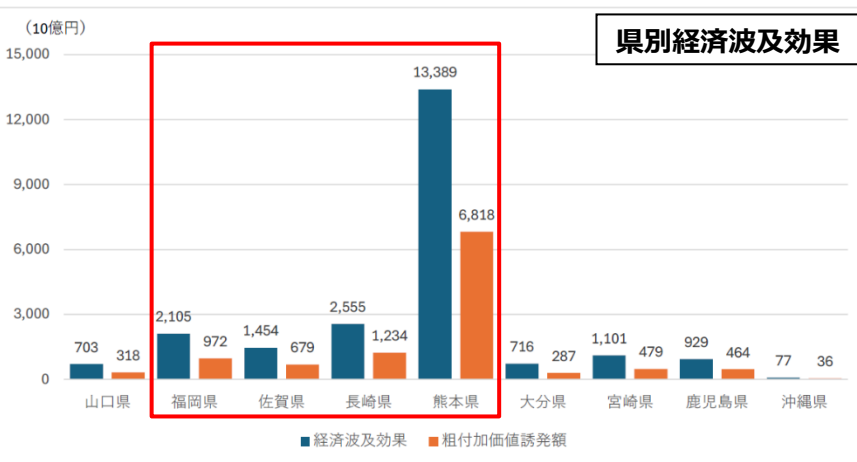


北部九州 経済・産業の活性化

当社グループの事業基盤である北部九州においては、**福岡市の人口増加や再開発の進展**、**熊本県を中心とする半導体企業の進出による産業蓄積**、**西九州新幹線の開業による経済活性化**など、新たな**ビジネスチャンス**が生まれている

半導体関連設備投資による県別の経済波及効果

県別の経済波及効果をみると、熊本県が13.4兆円と全体の58.1%を占めるほか、長崎県が2.6兆円（同11.1%）、福岡県が2.1兆円（同9.1%）と続き、影響が大きい。

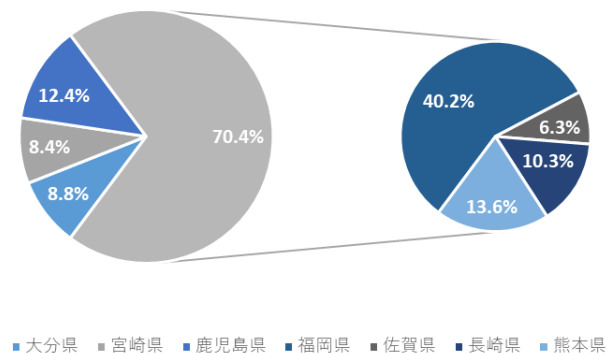


出典：公益財団法人九州経済調査協会

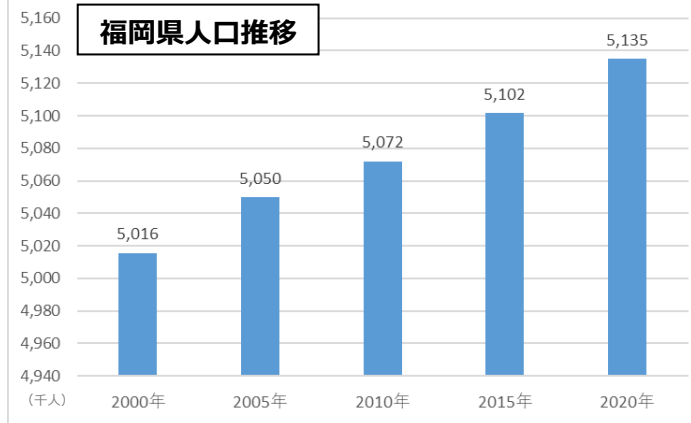
人口増加を続ける福岡県

主な事業エリアである北部九州は、福岡県、佐賀県、熊本県、長崎県で構成されている。この北部九州の九州全体に占める人口の割合は70.4%の割合を占めている。その北部九州の中でも福岡県は約6割の人口を占め、人口集中が進む福岡市を筆頭に、今後も発展が見込まれ、継続して人口増加をしている。

九州における人口割合



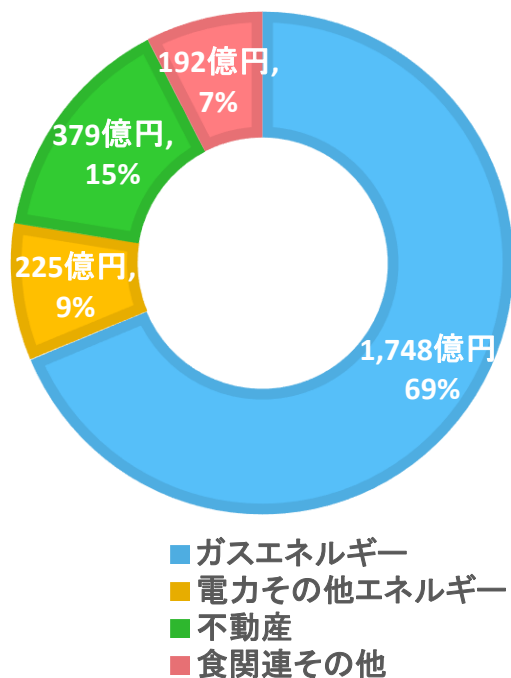
福岡県人口推移



出典：総務省統計局「国勢調査」

2. ^{さいぶ}西部ガスグループの主な事業

2024年度 セグメント別売上構成



ガスエネルギー事業



電力・その他エネルギー事業



不動産事業



食関連その他事業



事業区分	事業内容
ガスエネルギー	都市ガス・LPガス等の製造・供給及び販売、機器の販売、付帯関連事業、LNGの販売
電力その他エネルギー	電力販売、熱供給事業、太陽光・風力発電事業
不動産	土地及び建物の賃貸・管理、住宅建築・宅地開発及び不動産の販売、リフォーム事業
食関連その他	食品販売事業、情報処理事業、飲食店事業、介護事業等

天然ガスの広域供給

- ✓ 「ひびきLNG基地」でLNGを受け入れ、各地に天然ガスを供給
- ✓ エネルギー事業者にとって、お客様の安心・安全の確保と安定供給は最大の責務
- ✓ ガス漏れなどの事態に素速く対応できるよう、製造・供給・消費段階までトータルな保安体制を構築

ローリーによるLNG出荷

- ✓ 他ガス事業者さま、産業用のお客さまへLNGをローリ輸送
- ✓ 「ひびき基地」の出荷設備は、国内最大規模の12口を設置（ひびきLNG基地能力増強により2029年上期には18口に増加予定）

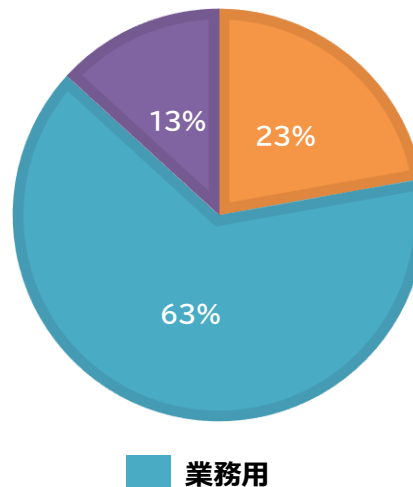


ひびきLNG基地 出荷設備



都市ガス販売量の構成比

【2024年度 都市ガス販売量構成比】



2024年度都市ガス販売量
930,390千m³ (過去最高)



卸供給



家庭用



プロパンガス (LPG)



- ✓ プロパンガス(LPG)とは、「Liquefied Petroleum Gas」(液化石油ガス)の略称で、化石燃料の中で比較的CO₂排出が少ないクリーンなエネルギー
- ✓ プロパンガスは常温常圧では気体状態で存在しますが、液化することで輸送や貯蔵が容易になり、液化された状態でボンベに詰め、運搬することが可能なため、都市ガスのインフラが及んでいない場所でもプロパンガスを提供
- ✓ 設置や復旧が容易なため、災害に強い分散型エネルギーとして、被災地での緊急炊き出し、仮設住宅への熱源供給などに利用可能

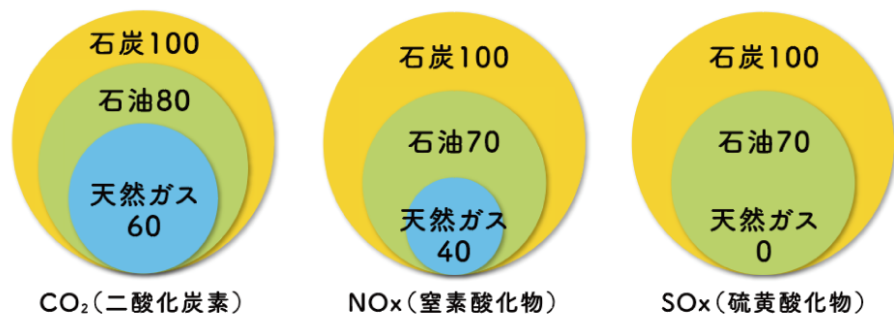


クリーン性

きれいに燃えて、環境への負荷を和らげる

メタンを主成分とする天然ガスは、不純物をほとんど含まないきれいなエネルギーです。地球温暖化の原因とされる二酸化炭素（CO₂）や光化学スモッグなどの原因となる窒素酸化物（NO_x）の排出が少なく、さらに酸性雨や大気汚染の原因となる硫酸酸化物（SO_x）を全く排出しないクリーン性が大きな特長

燃焼生成物の発生量比較（石炭を100とした場合）



資料:IEA Natural Gas Prospects to 2010(1986)

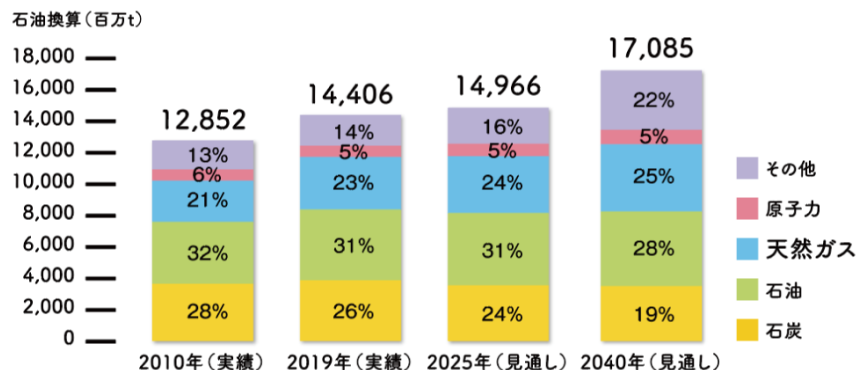
供給安定性

天然ガスへの期待がますます高まっている

現在、世界のエネルギー需要は、アジアを中心に急速に伸びている。天然ガスの需要も着実に増大しており、IEA（国際エネルギー機関）によると、エネルギー需要全体に占める天然ガスのシェアは2040年には25%にまで拡大することが予想されている。

また、天然ガスは世界各地に広く豊富に埋蔵されており、可採年数は約49年といわれている。また、現在も新しいガス田が世界中で開発され、長期にわたる安定供給が見込まれている。

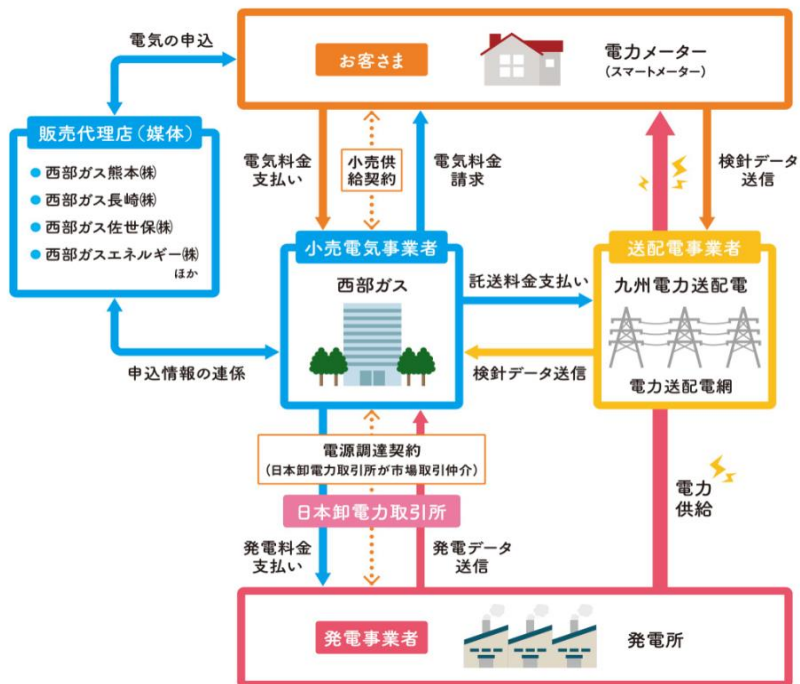
世界のエネルギー需要の推移と見通し



資料:IEA/World Energy Outlook 2020 新政策シナリオ ※四捨五入のため、パーセンテージの合計が100にならない場合があります

小売電気

- ✓ 2016年4月から、小売電気事業へ参入
- ✓ ガスと電気エネルギーをトータルで提案し、お客さま価値の向上を図る



国際エネルギー

- ✓ ひびきLNG基地の立地を活かし、LNG需要が拡大する中国・東南アジアにLNGを再出荷



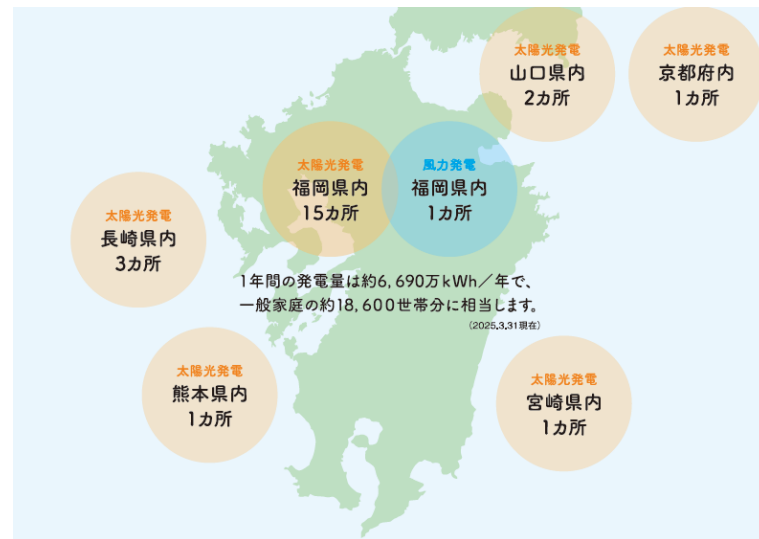
ISOタンクコンテナによるLNGバンカリング



LNG船再出荷

再生可能エネルギー

- ✓ 2024年度末時点で、太陽光発電所は23か所、風力発電所は1か所を保有し、1年間の発電量は、一般家庭の約18,600世帯分 (2025年3月31日現在)



【発電所の一例】

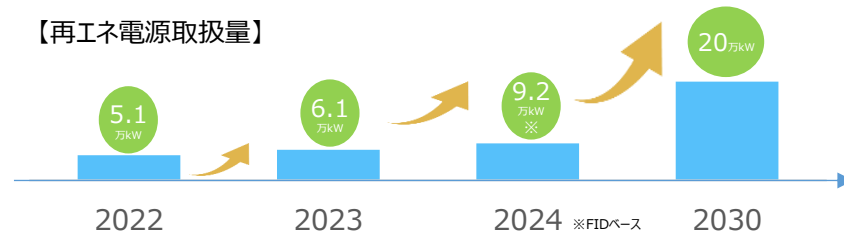


エネ・シールド北九州風力発電所



エネ・シールドひびき太陽光発電所

【再エネ電源取扱量】



分譲・賃貸

- ✓ 九州・山口地域を中心に、分譲マンションや戸建分譲などを展開
- ✓ 暮らしの中のエネルギーと関連の深いサービスを拡充



(株)エストラストの分譲マンション



九州八重洲(株)の戸建住宅



西部ガス都市開発(株)の賃貸物件



西部ガス都市開発(株)
研究施設や商業施設、店舗、賃貸住宅で構成
する複合研究開発次世代拠点「いとLab+」

まちづくり・物流

- ✓ まちづくりプロジェクトや物流事業にも参画



九州大学箱崎キャンパス跡地再開発事業 完成イメージ図
提供元：シン・ハコザキ 1 0 0



賃貸用物流倉庫「SGUD N-base東浜」

レストラン・フードサービス

- ✓ 炎が作り出す高品質の料理やサービス提供
- ✓ 美味しい料理を通じて、ガスの魅力を積極的に発信



(株)八仙閣が運営するレストラン・宴会場

フランチャイズ



当社が運営する「MILK DO dore iku?」

- ✓ 食関連のフランチャイズ事業を展開
- ✓ 当社グループになかった新たな運営ノウハウを吸収し、サービス品質の向上や事業効率の向上を図る

水耕栽培野菜の製造・販売

- ✓ 安全で安心な食生活を提供したいという思いから、エスジューグリーンハウス(株)では、「JGAP認証」※を取得し、リーフレタス「うるおい野菜」を生産・販売

※JGAP認証は、持続可能な農業経営に取り組む農場を与えられる認証です。



水産物の卸売り

- ✓ 福岡中央魚市場(株)は、鮮魚市場の荷受けとして生鮮水産物の委託販売（セリ売り、入札など）や、水産冷凍品の販売、冷凍及び生食用水産物の加工販売等を実施



冷凍水産物の製造、加工

温浴事業

- ✓ (株)ヒナタの杜が運営を行う温浴「ヒナタの杜 小戸の湯どころ」は、お風呂や床暖房の温もりを感じる温暖ルームを併設し、利用者の皆さまに我が家にいるようなゆっくりとくつろげる「空間」と「時間」を提供



解放感のある
露天風呂



ゆっくりくつろげる
温暖ルーム

セキュリティ事業

- ✓ アイランドシティ「照葉のまち」でタウンセキュリティを実施
- ✓ 安心・安全な環境を日夜守り続ける常駐警備をはじめ、機械警備等により管理を実施



パトロールカー
による巡回



常駐警備

高齢者サービス事業

- ✓ 西部ガスライフサポート(株)では、福岡市内で有料老人ホームを運営し、高齢化社会のニーズに応える事業を展開
- ✓ 地域に根ざし安心して過ごせる介護と看護のサービスを提供



福岡市早良区
「アンペレーナ百道」

その他

- ✓ ビジネスサポート事業
- ✓ スタートアップ投資事業
- ✓ 情報処理事業



西部ガスグループは、2030年に創立100周年を迎えます。その先の未来も見据え、グループの様々な事業活動を通じて「つながり」と信頼を地道に積み重ね、地域社会の発展に貢献するとともに、皆様に選ばれ続ける企業グループを目指します。

■ 2030年のありたい姿

『人を、街を、社会をつなぎ、未来をつくる。』

西部ガスグループは「つながり」をチカラに

未来を変える価値の創造に挑み

持続可能で豊かな社会の実現をリードします。



■ ありたい姿に向けた戦略

戦略1 地域のカーボンニュートラルの実現に率先して取り組みます

戦略2 サステナブルな暮らしや地域社会を支える価値を共創します

戦略3 未来志向で価値創造の基盤を強化します

■ 経営指標（2030年）

売上高 2,500億円
経常利益 150億円

CO2排出削減貢献量
： 150万トン

再エネ電源取扱量
： 20万kW

ガスのカーボンニュートラル化率
： 5%以上

西部ガスグループでは、2021年9月にカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを示した「カーボンニュートラル2050」を策定し、その方針を示しました。さらに、カーボンニュートラルアクションプランで、その方針をより具体化し、取り組みを推進していきます。

■カーボンニュートラル宣言

西部ガスグループは、クリーンで効率的なエネルギー利用を軸に「低・脱炭素化」の取り組みを加速させ、**2050年カーボンニュートラルの実現にチャレンジしていきます。**
まずは、**2030年までに次の目標を掲げ、お客さまおよび地域社会の持続的発展に貢献していくことを宣言します。**



2030年目標

CO₂排出^{※1}削減貢献量 **150万トン**
再エネ^{※3}電源取扱い量 **20万kW**
ガスのカーボン^{※4}ニュートラル化率 **5%以上**

2050年カーボンニュートラル実現に向けて、これまでガス事業で培った様々な技術やノウハウを結集し、新たな取り組みにチャレンジしていきます。
また、お客さま、行政、学術機関等との積極的な連携を図り、一体となって促進していきます。

※1 当社グループおよびお客さま先における2030年断面のCO₂排出削減貢献量(2020年度～)
※2 現在の当社グループおよびお客さま先のCO₂排出量(約300万トン/年)の約2分の1に相当
※3 国内外における電源開発、FIT電源、調達を含む
※4 供給するガス全体にカーボンニュートラル化したガス(メタネーション、水素、バイオガス、カーボンニュートラルLNG等の手段で製造または調達したガス)が占める割合

■実現に向けたシナリオ

- ✓ まずは、トランジション期における徹底した天然ガスシフトによる低炭素化を着実に進め、その上でガスの脱炭素化や電源の脱炭素化を推進することで、2050年のカーボンニュートラルを実現します。



3. ^{さいぶ}西部ガスグループの成長戦略と業績

一部、2025年3月に公表したグループ中期経営計画の「2024年度見通し」の数値を「2024年度実績」に変更しておりますので、実際の計画に記載の数値とは異なります。

基本方針

ガスと電力を中心とするエネルギー事業の成長を加速するとともに、不動産事業の安定的な収益確保に取り組み、利益を最大化する。

また、グループ経営管理の高度化により、資本効率の向上を図る

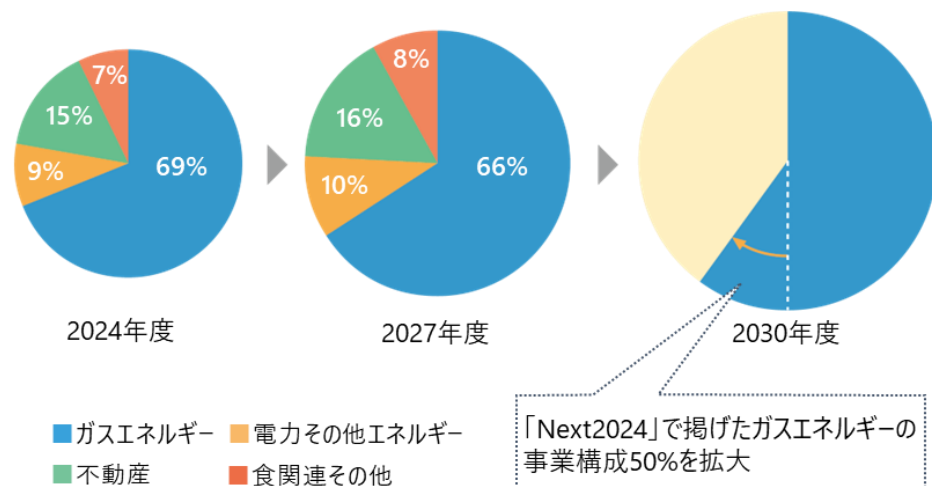
財務目標とグループ事業構成

括弧内は2024年度実績

	達成時期	目標
経常利益	2025～2027年度 合計	380億円 (327億円※1)
ROE	2027年度	8.0%程度 (6.3%)
ROIC	2027年度	2.3%程度 (2.0%)
	2030年代前半	3.0%程度
自己資本比率	2027年度	23.0%以上 (23.2%)

※1 2022～2024年度合計

グループ事業構成（売上高）



*「2024年度見通し」の数値を「2024年度実績」に変更しております。

- エネルギー事業で成長を牽引し、営業利益は2024年度実績から+30億円の約1.3倍に

セグメント別営業利益

エネルギー事業

ガスエネルギー事業

+5億円

- 営業体制強化やソリューション営業の深化による徹底的なトランジション需要の獲得と、更なる拡大に向けたインフラ基盤整備の推進

電力その他エネルギー事業

+25億円

- ひびき発電所の稼働による電力事業の成長と、カーボンニュートラルに向けた再エネ電源取扱量の拡大
- ひびきLNG基地能力増強を見据えた基地活用事業の推進

2027年度
目標都市ガス販売量：990百万m³（930百万m³）

電力販売量：9.0億kWh（6.7億kWh）

括弧内は2024年度実績

不動産事業

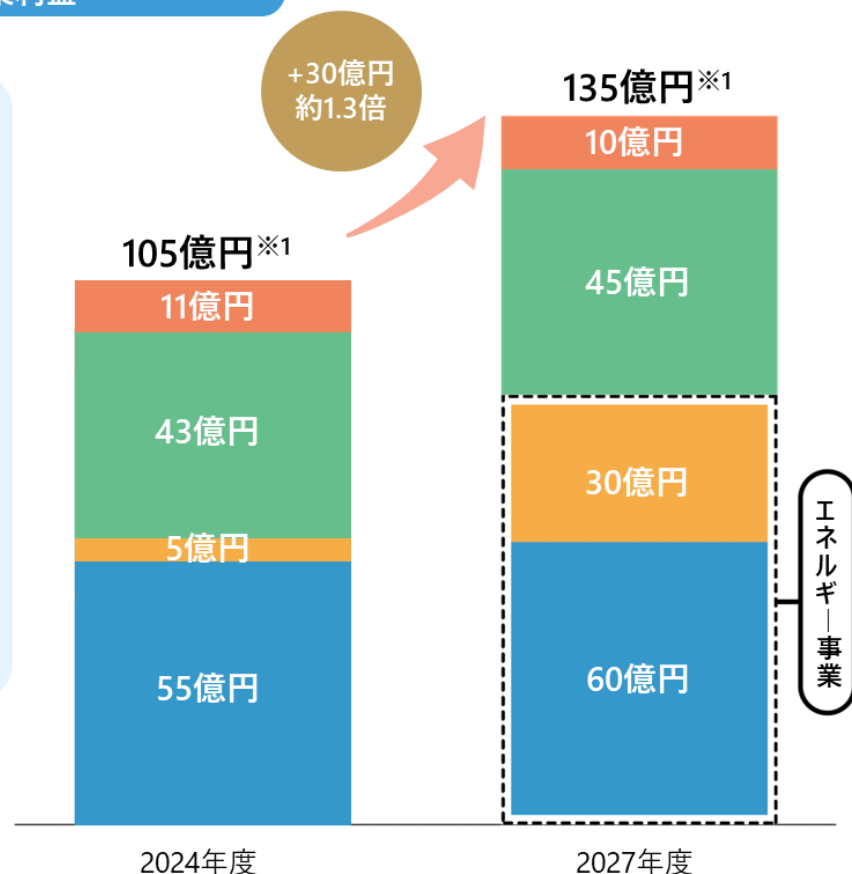
+2億円

- 流動化と継続的な投資による資産効率向上と安定収益の確保

食関連その他事業

▲1億円

- 既存事業の収益性向上
- 将来の成長の柱となり得る事業の見極めと、M&Aを含む事業拡大へのチャレンジ



※1 営業利益合計値（調整額を含む）

*「2024年度見通し」の数値を「2024年度実績」に変更しております。

- ・天然ガス需要獲得の拡大と将来のカーボンニュートラル化の備えとして、ひびきLNG基地能力増強に着手

ひびきLNG基地能力増強

■ 目的

- ・カーボンニュートラルを背景とした国内の天然ガス需要への対応
- ・安定供給の更なる向上
- ・グローバルビジネスの推進（基地活用事業）
- ・将来的な都市ガスのカーボンニュートラル化に向けた備え（e-メタンの柔軟な受入れ）

■ 概況

事業会社	西部ガス株
総事業費	約500億円
着工予定	2025年夏頃（本工事）
運開予定	2029年度上期

■ 増強後の設備（概要） 括弧内は現状からの増強分

LNGタンク	18万kl x 2基、23万kl x 1基（+23万kl x 1基）
ガス製造設備	LNG気化器6基（+1基）、BOG圧縮機4基（+2基）、他
ローリー出荷設備	18レーン（+6レーン）



■ 豊富な天然ガス需要と当社グループのアクション

増加が見込まれる
アジア圏内のLNG輸送量
約2.5億トン（2024年）
⇒ 約5億トン（2040年）

ひびきLNG基地の
地理的優位性などを
活かしたビジネス展開

- ・ガスアップ/クールダウン
- ・一時貯蔵/積替
- ・再出荷
- ・ISOタンクコンテナ出荷

北部九州

ひびきLNG基地※

ガス/LNG潜在需要量
30~40万トン

※ 現在の天然ガス取扱量
約80万トン

石油・石炭からの燃料転換や
半導体産業などの
新たな需要獲得

- ・**LNGの安定的な確保**をより強固にするとともに、**グローバルビジネス推進**を実現するため、JERAと西部ガスは以下の項目を対象にひびきLNG基地の戦略的活用の提携に合意



ひびきLNG基地の戦略的活用の提携項目

01 LNG安定供給への対応

- ひびき基地を活用した両社のLNGの相互融通、基地の**安定的な事業運営と収益の確保**

02 グローバルビジネスの推進

- ひびきLNG基地の**立地的優位性**を活用し、アジアをはじめとした**グローバルな新たな市場開拓**なども視野

03 次世代燃料を含むエネルギービジネスの推進

- 将来のカーボンニュートラル実現に向けた水素等次世代燃料の検討

■ LNG安定供給への対応 ～3号タンクを活用したLNG相互融通の一例～



■ グローバルビジネスの推進 ～アジアなどに向けたLNG供給～



- ひびき発電所の稼働による原価低減と安定電源の確保により、電力事業の拡大・収益改善

ひびき発電所の稼働

■ 目的

- 自社小売電力の原価低減
- 電力卸事業の推進
- 安定電源の確保
- ひびきLNG基地の取扱量増大による都市ガス原価の低減

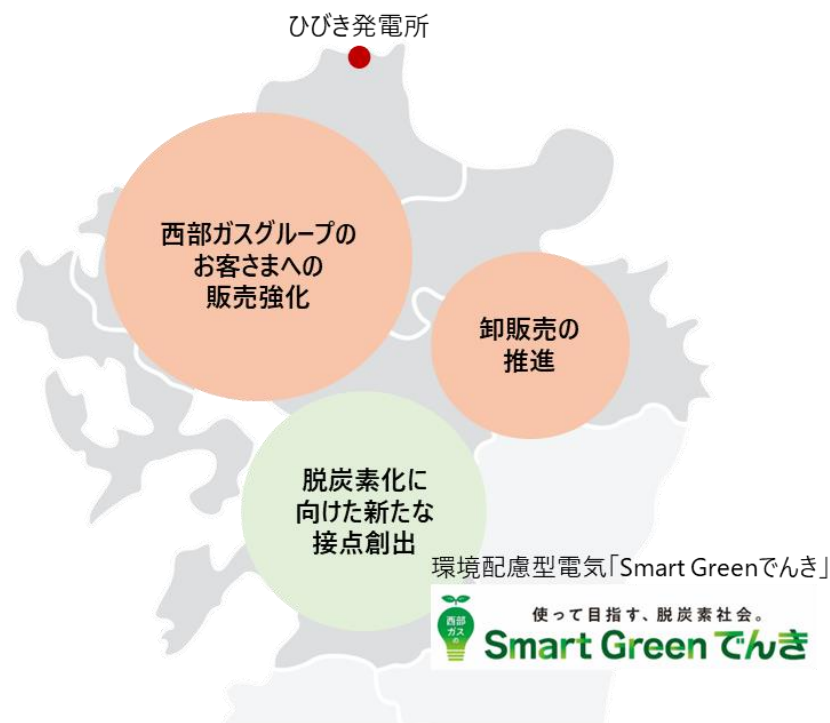
■ 概況

規模	62万kW×1基
発電方式	ガスタービンコンバインドサイクル方式
出資者	西部ガス(株)、九州電力(株)
運開予定	2026年3月



■ 電力事業の中長期事業拡大イメージ

事業エリアの拡大や卸販売の推進、環境配慮型電気「Smart Greenでんき」の拡販などに取り組み、電力事業を更に拡大

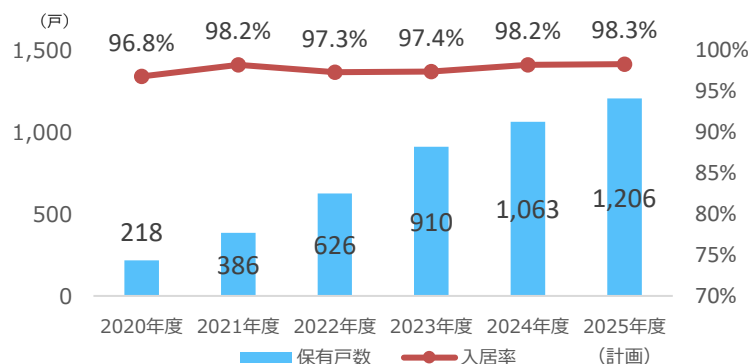


- 前中計までの**成長投資**により保有物件を蓄積し、着実に**事業拡大**
- 引き続き、**賃貸・分譲・まちづくり**など多様な**取り組みを推進**するとともに、**私募ファンド組成**による将来的な収入源の多角化や、保有不動産の**一部売却・投資への充当**などによる**資産効率の向上**をはかる

賃貸事業

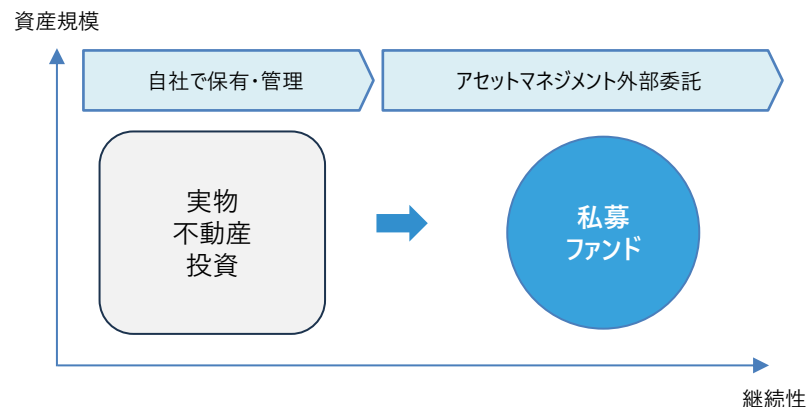
■ 賃貸マンション戸数・入居率

- ✓ 高い入居率を維持しつつ、保有物件戸数は拡大基調（4年間で約5倍）



■ 資産効率向上に向けた施策イメージ

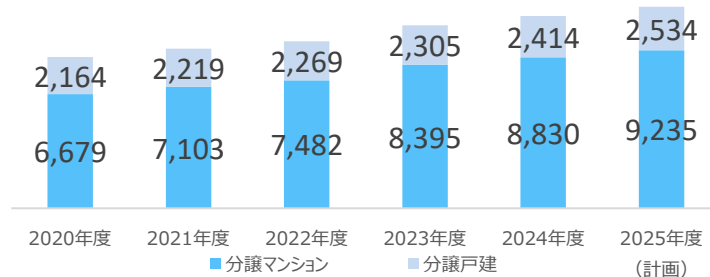
- ✓ 保有不動産の一部を私募ファンドへ売却し、オフバランス化（検討中）



分譲事業

■ 分譲マンション・戸建住宅販売戸数（累計）

- ✓ 分譲マンション「オービジョン」、戸建分譲「ジョイナス」等のブランド力の強化・商品価値の向上により引き続き拡大



- ✓ 経常利益ベースは、2023年度以来2期ぶりの増収・増益
- ✓ 2025年度第1四半期業績は、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益ともに過去最高
- ✓ 売上高は、不動産事業において分譲マンションの販売戸数が増加したこと及び電力販売事業において販売量が増加したこと等により、15.4%増の67,549百万円
- ✓ 営業利益は、ガス事業において売上原価が減少したこと及び不動産事業の売上高が増加したこと等により、110.5%増の5,477百万円
- ✓ 経常利益は、82.9%増の5,733百万円
- ✓ 親会社株主に帰属する四半期純利益は、86.0%増の3,533百万円

(単位：百万円、%)

項 目	当四半期 (2025.4~2025.6)	前四半期 (2024.4~2024.6)	対前年同期		備 考
			増 減	増減率	
売上高	67,549	58,557	8,992	15.4	2023年度以来2期ぶりの増収
営業利益	5,477	2,602	2,874	110.5	2023年度以来2期ぶりの増益
経常利益	5,733	3,135	2,598	82.9	2023年度以来2期ぶりの増益
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,533	1,899	1,633	86.0	2023年度以来2期ぶりの増益

連結子会社：46社、持分法適用関連会社：5社

- ・ 経常利益ベース及び親会社株主に帰属する当期純利益ベースともに増収増益の見込み
- ・ ガス・L P Gは、ひびきL N G基地の減価償却費が減少すること等により増益の見込み
- ・ 電力・その他エネルギーは、常時バックアップの終了に伴う売上原価の増加等により減益の見込み

業績予想

(単位：百万円)

項 目	2025年度 予想	2024年度 実績	増 減	増減率
売上高	256,000	254,442	1,558	0.6
営業利益	10,500	10,530	▲ 30	▲ 0.3
ガス・L P G	7,400	5,453	1,947	35.7
電力・その他エネルギー	100	501	▲ 401	▲ 80.0
不動産	4,000	4,299	▲ 299	▲ 7.0
その他	800	1,145	▲ 345	▲ 30.1
調整額	▲ 1,800	▲ 869	▲ 931	—
経常利益	11,000	10,611	389	3.7
親会社株主に帰属する当期純利益	7,000	6,362	638	10.0

※2025年度 業績予想の前提：原油価格 75ドル／bbl、為替レート 150円／ドル

配当金

期末配当は、1株につき35円を予定しています。通期では、中間配当として実施した35円を加え、1株につき70円の配当となる予定です。

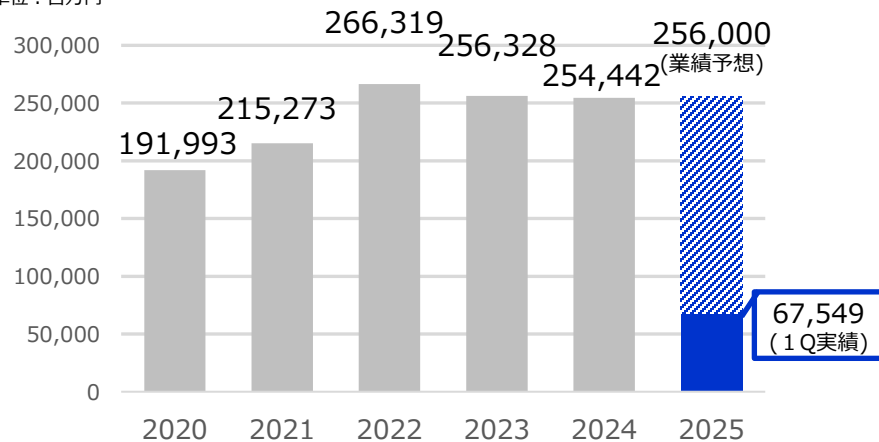
次期の配当につきましては、1株につき70円の配当を下限とした持続的・安定的な株主還元を実施予定です。

また、中長期の会社業績などを総合的に勘案しながら、自社株買いなどの追加還元策を機動的に実施する方針です。

✓ 2025年度業績予想に対して堅調に推移

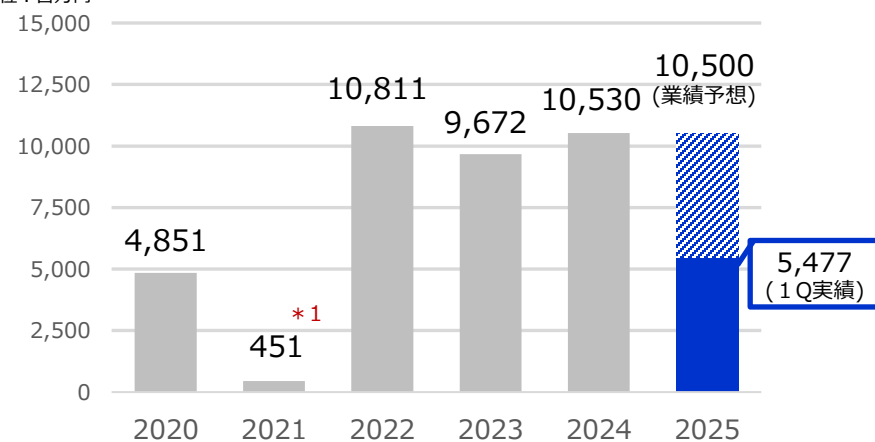
売上高

単位：百万円



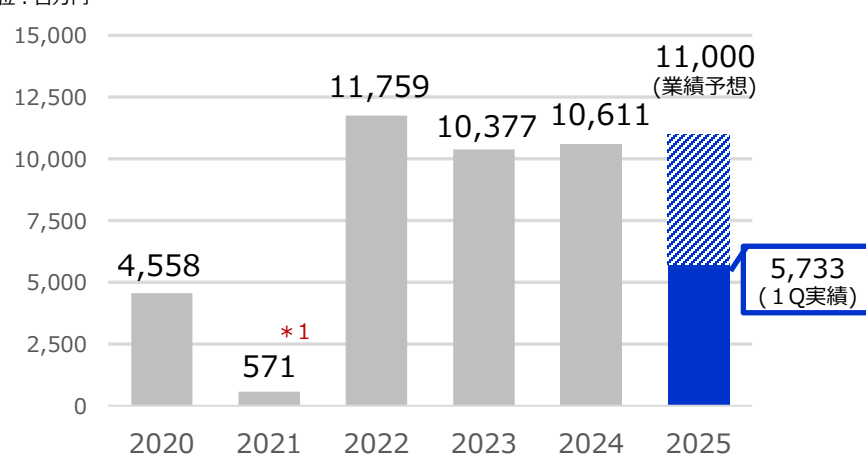
営業利益

単位：百万円



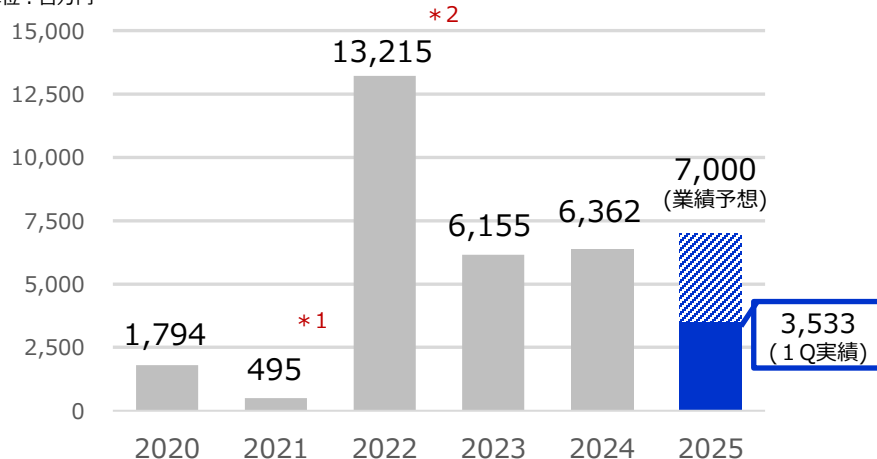
経常利益

単位：百万円



親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



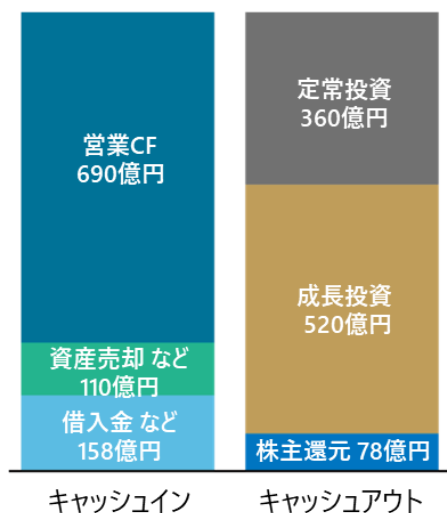
*1 原料LNGを価格が高騰したスポット市場から調達した影響

*2 ハウステンボス株式の売却益の影響

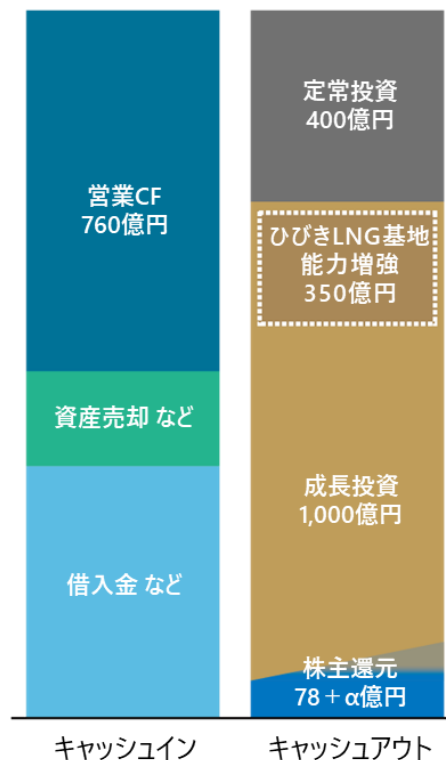
4. ^{さいぶ}西部ガスグループの資本コスト経営

- 営業キャッシュフローの拡大に加え、資産売却や借入金などによるキャッシュインを原資に、**ひびきLNG基地能力増強などの大規模成長投資を実行**
- **1株当たり70円の配当を下限**とした持続的・安定的な株主還元と、中長期の会社業績などを総合的に勘案しながら、**自社株買いなどの追加還元策を機動的に実施**
- **5年間で政策保有株式を半減し、資産効率を向上**

「Next2024」（2022～2024年度）



新中計「ACT2027」（2025～2027年度）



成長投資

主な投資：

- ひびきLNG基地能力増強
- 再生可能エネルギー開発
- カーボンニュートラル、エネルギーサービス投資
- 不動産投資、まちづくりPJへの参画
- DX投資 など

定常投資

- 既存事業における基盤整備および品質向上などの継続投資

株主還元方針

- 1株当たり配当金70円の配当を下限とし、持続的・安定的な還元を実施
- 将来の成長に必要な投資や経営基盤の強化に必要な資金を確保したうえで、中長期の会社業績などを総合的に勘案しながら、自社株買いなどの追加還元策を機動的に実施

資産売却

- 5年間で政策保有株式を半減（2023年度比）

自己株式の取得（2025年4月30日発表）

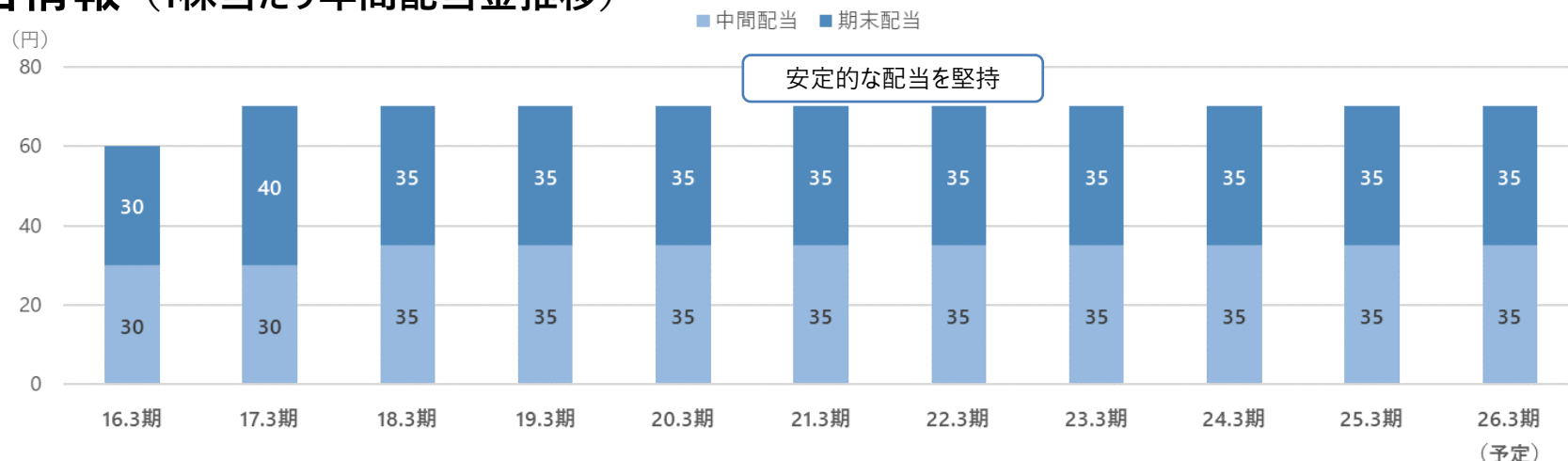
目的

- 当社が保有している政策保有株式の売却資金を活用した自社株式の取得を行い、新グループ中期経営計画で示した機動的な株主還元の実行を示すため

実施概要

- 取得株式種類：普通株式
- 取得株式総数：150万株（上限、発行済株式の総数に対する割合4.0%）
- 取得株式総額：20億円（上限）
- 取得期間：2025年5月1日～2026年3月31日

配当情報（1株当たり年間配当金推移）



配当性向	99.3%	75.3%	43.8%	47.3%	55.2%	144.4%	523.6%	19.6%	42.1%	40.7%	37.0%
総還元性向	99.3%	75.3%	43.8%	47.3%	55.2%	144.4%	523.6%	19.6%	42.1%	40.7%	約60%超

（注）2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っていますが、2017年9月30日以前についても株式併合した場合の数値にて記載しております。

- 資本コストを上回るリターンを継続的に生み出し、企業価値を向上する全社的な取り組みとして、
戦略的な事業ポートフォリオマネジメントとROICツリーマネジメントを段階的に導入し、グループ経営を強化

資本コストを上回るリターンの創出
【ROIC目標】 2027年度：2.3%程度 2030年代前半：3.0%程度

事業ポートフォリオマネジメントの高度化

事業管理単位・責任体制の再構築と、ROICを活用したポートフォリオマネジメントにより資本コストを意識した戦略的な経営資源配分を実施

資本コストを意識した戦略的な経営資源配分を実現

資本効率性や成長性などを踏まえた事業評価とマネジメント

事業管理単位の細分化
(戦略的管理ユニットを新たに導入)

セグメント 戦略的管理ユニット

ガスエネルギー 都市ガス、LPG...

電力その他
エネルギー 電力小売、再エネ...

不動産 マンション分譲、戸建分譲...

食関連その他 会社単位で管理

責任体制の再構築

新たな評価指標の導入 (ROICなど)

各事業への戦略的な
経営資源の配分

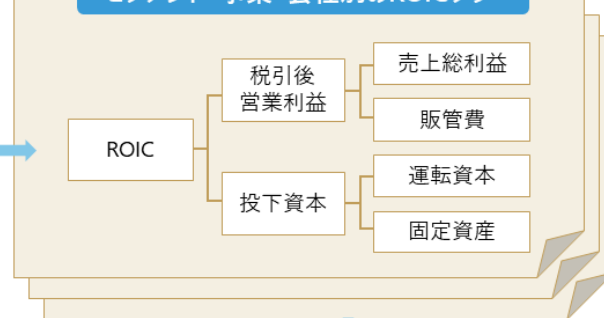


各事業における
ROICの向上

ROICツリーマネジメントの推進

ROICツリーを活用したマネジメントを導入し、
グループ全従業員参加型で改善活動を推進

セグメント・事業・会社別のROICツリー



ROIC
向上

共通の指標を通じた
建設的な対話・
PDCAサイクルの実践



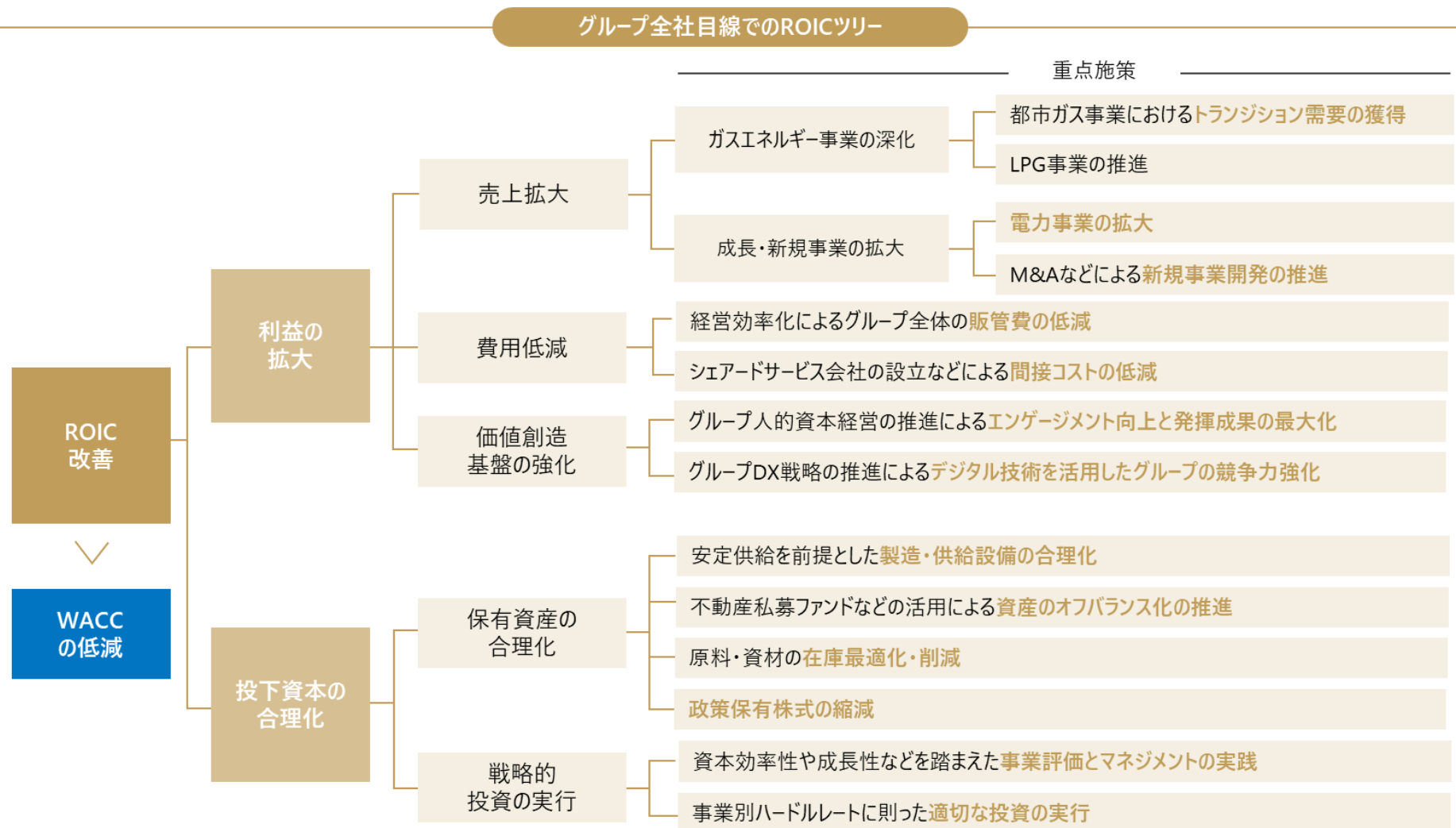
反映

各社・各事業部門のKPI
(P/L・B/Sの両面から策定)

反映

各社・各事業部門の重点施策

- ROICを構成要素に分解し、改善に寄与するドライバーを特定。KPIと重点施策を定めて取り組みを推進

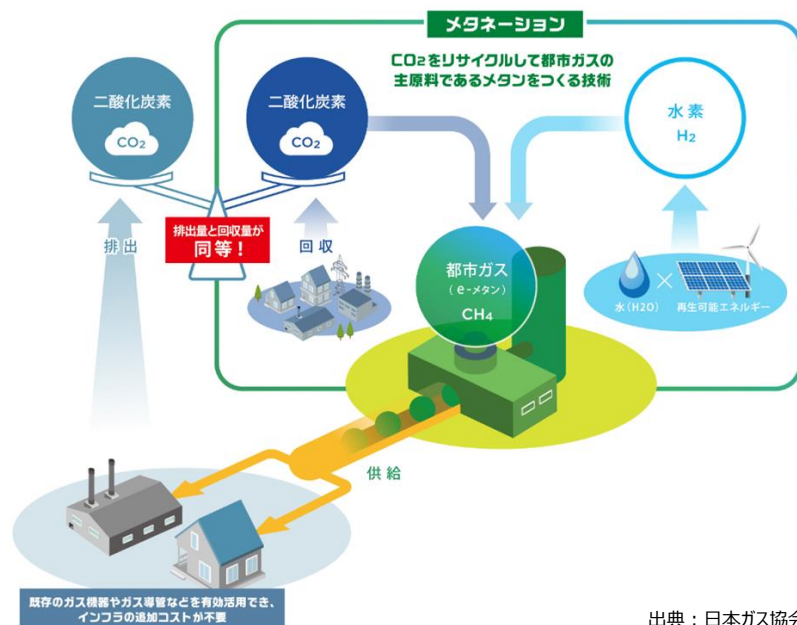


参考資料

- ✓ 環境省事業（地域創生・セクター横断型CN技術開発・実証事業）に採択された地域の原料を活用したメタネーション実証事業において、2025年6月から実証設備の運転開始
- ✓ 2050年に向けて、国内での実証試験に加えて、海外のサプライチェーン調査や革新技术の調査を含め、業界目標（都市ガス販売量に対するe-methane導入量：2030年1%、2050年90%）に向けて推進

メタネーションとは

- ✓ メタネーションとは、水素（ H_2 ）と二酸化炭素（ CO_2 ）から都市ガスの主成分であるメタン（ CH_4 ）を合成する技術
- ✓ グリーン水素等の非化石エネルギー源を材料として、製造された合成メタンを「e-methane」と呼ぶ



出典：日本ガス協会HP

(<https://www.gas.or.jp/gastainable/methanation/>)

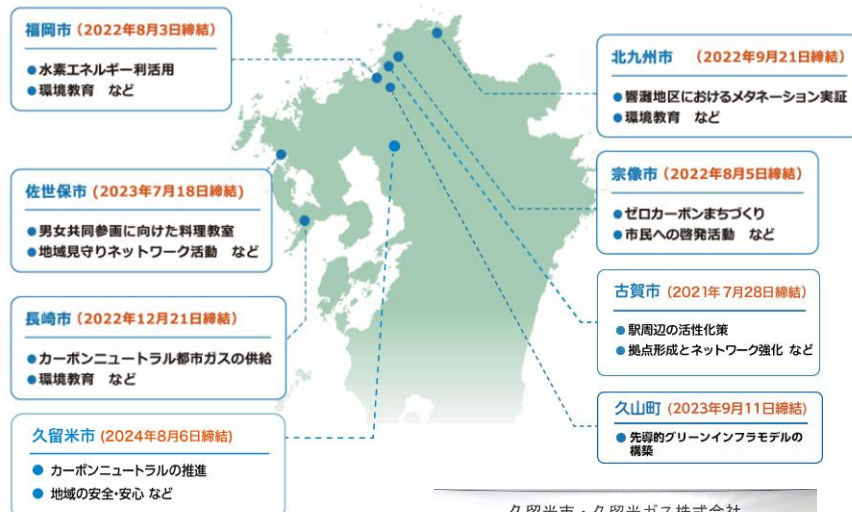
実証事業

- ✓ 実証の場所については、メタネーション実証設備設置に十分な土地を有するひびきLNG基地内で実施
- ✓ 2025年6月から、メタネーション実証事業の実証設備の運転開始



自治体との連携

- ✓ 当社グループの事業エリアを中心に、地域のカーボンニュートラルの実現に向けた連携協定を締結し、行政と一体となった取り組みを推進



- ✓ 久留米市と久留米ガスは、2024年8月包括連携協定を締結
- ✓ 多様な分野において連携し、双方が持つ資源を活用したまちづくり活動を協働で推進



久留米市との連携協定締結式

GXリーグへの参画

- ✓ 2024年4月1日より GXリーグに参画
- ✓ GXリーグへの参加を通じて、CO2排出削減への取り組みを加速させ、2050年カーボンニュートラルの実現貢献を推進



環境・資源保全推進活動

◆ひびきの森緑化活動における生物多様性の保護

- ✓ 2030年を目指して、北九州市若松区のひびきLNG基地及び周辺用地の90万m²に、その地に生息する生物の多様性の保護を念頭に20万本を植樹し、森につつまれた総合エネルギー基地を創る「ひびきの森計画」を2013年度から進め、2023年12月までに約15万本の植栽を完了



◆都市部不動産の生物多様性保護（オフィスビルの壁面緑化）

- ✓ 街づくりにおいて、生物多様性に配慮した事業活動を行うことが重要であると考え、街に潤いを与える新たな緑の創出

◆地域と密着した環境保護活動

（西部ガスグループ油山研修所の森）

- ✓ 油山研修所は、福岡市の南部に広がる油山のふもとに位置し、グループ研修所として、従業員が集い、自然と共存することで、新しい発想や癒しの空間として活用
- ✓ 今後は、グループ従業員の環境教育や地域の生物多様性の保全やつながりの場として貢献する活動を計画

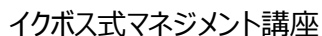


TCFDへの賛同

- ✓ 2021年10月26日 TCFD提言に賛同
- ✓ TCFD提言に沿った気候変動対応に関する情報開示を実施



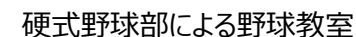
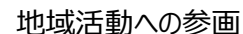
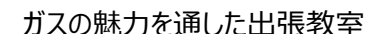
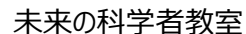
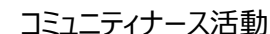
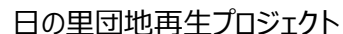
- ✓ 「従業員価値の向上」とともに「柔軟で多様な発想や価値観を持つ人財の育成」、「効果的な人財活用による人財の活性化」を図るため、ダイバシティ推進に取り組んでいます。
- ✓ 多様性の発揮に向けた取り組みとしては、階層別に様々な講座や研修などを行っています。



変革をリードする人財の育成を目的とした‘ソウゾウ大学’

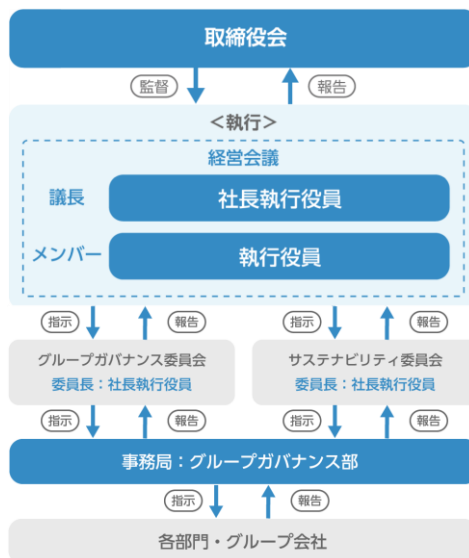


✓ 西部ガスグループは、経営の基本理念「地域貢献」「責任」「和」に基づき、グループの強みと従業員一人一人の力、お客さまとのつながりを活かして、地域・社会貢献活動に係る取組みを邁進しています。



コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

＜ガバナンス・リスク管理体制図＞



- ✓ 公正かつ誠実な事業活動を通じて、企業の社会的責任を果たすとともに急速に変化する事業環境に的確に対応し、株主をはじめとするステークホルダーの皆さまの信頼に十分にお応えできるようガバナンスの強化

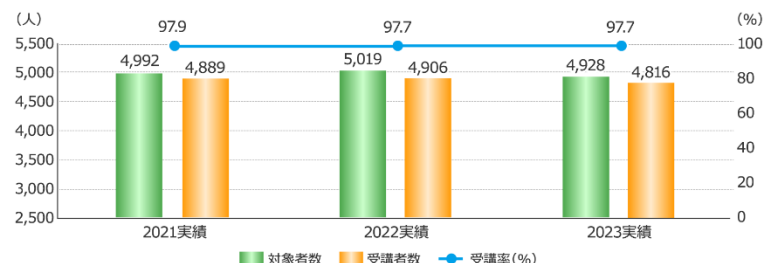
コンプライアンス研修の実施

- ✓ 経営者層・管理職層・新入社員等への階層別研修や各社・各組織のコンプライアンス活動のキーマンであるガバナンス責任者に対する研修を毎年実施することにより、コンプライアンス意識の啓発やコンプライアンススキルの向上を図る。



コンプライアンス教育担当者研修

全従業員研修受講状況（西部ガスグループ）



ステークホルダーとの対話の推進

- ✓ グループ中期経営計画に則り成長戦略を推進するとともに、IR活動・情報開示を強化し、PBRの向上を促進
- ✓ 開示内容の充実や投資家との対話機会の拡大（決算説明資料の開示、統合報告書の策定、機関投資家ミーティング、個人投資家向け説明会の開催頻度拡大、等）
- ✓ 中長期の成長ストーリーの策定・開示（グループ中期経営計画「ACT2027」）

コンプライアンス相談窓口

- ✓ 西部ガスグループは職場での不正やハラスメント等、企業倫理上の問題についてのコンプライアンス相談窓口として、西部ガスグループ全従業員を対象とした「内部通報制度」を設けている。また、通報はメール、電話、郵送なども選択できるように通報者が利用しやすい環境を整えている。



- サステナビリティに係る取組みの推進、情報開示の充実等により、外部機関からの評価が向上

ESG評価機関の評価・Index（指数）組入状況

評価機関名	FTSE	MSCI	CDP Carbon Disclosure Project
当社スコア	4.2点 昨年 4.0点	A 昨年 A	B 昨年 B-

◆組入状況



FTSE Blossom
Japan Index

2023年6月組入

GPIF
採用

2023 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数 ※

2023年6月組入



2018年7月組入

GPIF
採用



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2023年12月組入

GPIF
採用

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数 ※

2024年1月組入

GPIF
採用

Morningstar日本株式ジェンダー・
ダイバーシティ・ティルト指数（除くREIT）

2015年12月組入

GPIF
採用

- 環境・社会・ガバナンス分野におけるサステナビリティの取り組みを評価され、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）がESG投資を行うための指標として採用している5つの構成銘柄に選定

※ <http://info.msci.com/l/36252/2017-06-27/kj6v2j/>
本ホームページに記載された商品・サービス名は各社の商標またはサービスマークです。

顧客満足度指数調査「ガス小売」部門 4年連続 第1位

- ✓ 西部ガス、西部ガス熊本、西部ガス長崎、西部ガス佐世保は、公益財団法人日本生産性本部 サービス産業生産性協議会が実施する、2024年度 日本版顧客満足度指数「ガス小売部門」において、4年連続で顧客満足度第1位の評価



公益財団法人日本生産性本部

日本でいちばん大切に したい会社



人を大切にする経営学会

えるぼし認定・くるみん取得

- ✓ 女性活躍推進



厚生労働省

ワークライフバランスに関する表彰



公益財団法人日本生産性本部



北九州市



厚生労働省

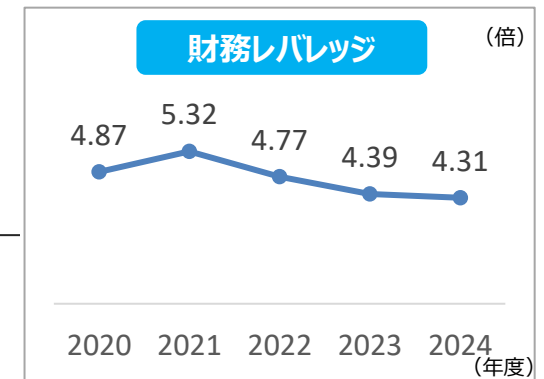
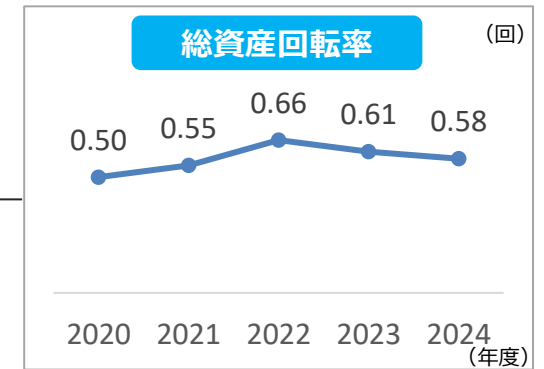
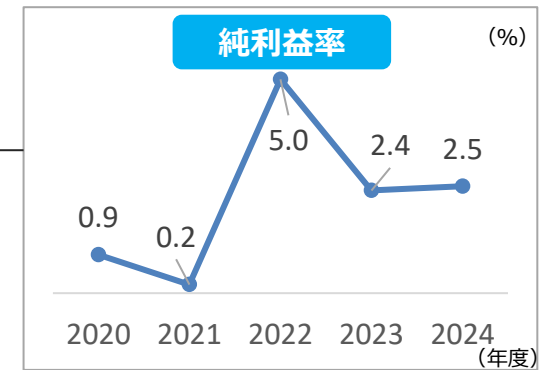
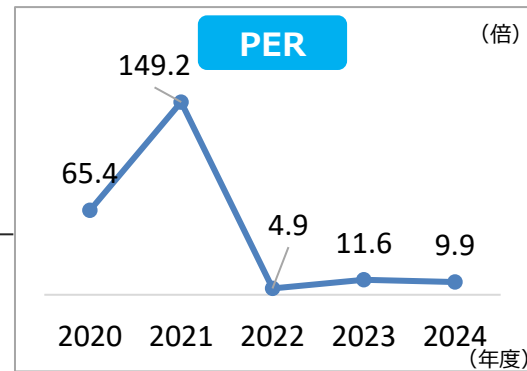
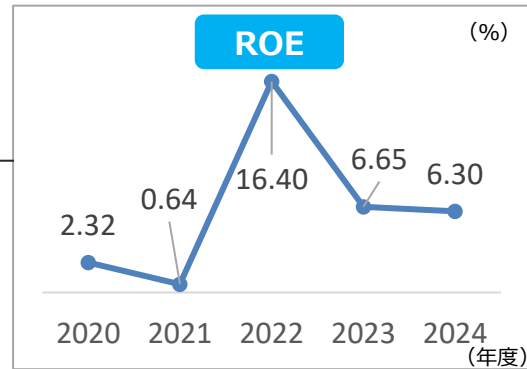
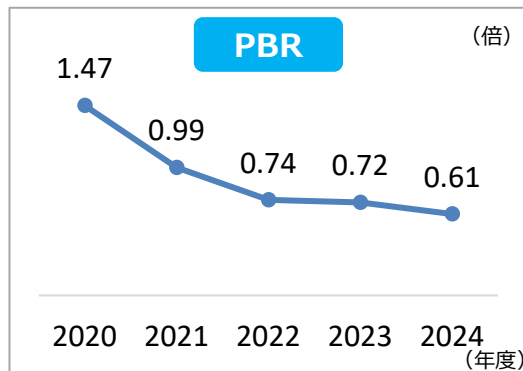
健康経営優良法人の認定

- ✓ 従業員の健康経営を推進



経済産業省

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高（百万円）	191,993	215,273	266,319	256,328	254,442
営業利益（百万円）	4,851	451	10,811	9,672	10,530
経常利益（百万円）	4,558	571	11,759	10,377	10,611
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	1,794	495	13,215	6,155	6,362
総資産額（百万円）	389,929	395,664	414,268	431,785	447,774
純資産額（百万円）	86,121	80,639	93,624	105,574	111,709
有利子負債残高（百万円）	264,330	275,124	281,902	282,610	279,819
設備投資額（百万円）	20,905	16,049	19,769	26,370	25,201
減価償却費（百万円）	19,555	20,829	20,377	20,404	18,270
営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	20,748	10,542	21,749	22,124	38,557
投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	▲25,528	▲14,125	▲15,969	▲28,151	▲29,951
財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	4,854	7,634	2,959	▲4,018	▲6,699
1株当たり当期純利益(円)	48.47	13.37	356.92	166.24	171.81
ROE:自己資本当期純利益率(%)	2.3	0.6	16.4	6.6	6.3
ROA:総資産当期純利益率(%)	0.5	0.1	3.3	1.5	1.4
自己資本比率（%）	20.5	18.8	20.9	22.8	23.2



 西部ガスホールディングス

GLOBAL | お問い合わせ | サイト内検索 

西部ガスグループについて | 事業内容 | **株主・投資家の皆さま** | サステナビリティ | 採用情報 | プレスリリース

[ホーム](#) > [株主・投資家の皆さま](#) > IR関連情報

IR関連情報

当社の株主の皆さまへの情報提供サービスです。
以下のボタンよりご登録ください。

株主さま向けIRメール配信登録はこちら >

↓登録はこちら↓



 西部ガスホールディングス

株主さま向けIRメール配信 ご登録フォーム

1

2

3

内容を入力 | 入力内容の確認 | お申込み完了

必要事項をご入力の上、お申し込みください。
※印は必須項目です。

ご清聴ありがとうございました。



＜お問い合わせ先＞

西部ガスホールディングス株式会社
グループガバナンス部 法務戦略グループ IR担当
電話 (092) 633-2795
Email sgg_ir@saibugas-group.com
URL <https://hd.saibugas.co.jp/ir/>

エネルギーを解放て。

西部ガスグループの真のエネルギーは、人だ。

失敗を恐れる必要はない。さあ、挑戦しよう。お客さまの新たな喜びを、開拓しに行こう。

 西部ガスグループ

